回復期リハビリテーション病棟の入院適応

回復期リハビリテーション病棟では、次のように入院できる病気の状態、入院できる期間が決められています。

回復期リハビリテーションを要する状態	上限
脳血管疾患 脊髄損傷 頭部外傷 くも膜下出血のシャント手術後 脳腫瘍 脳炎 急性脳症 脊髄炎 多発神経炎 多発性硬化症 腕神経叢損傷の発症後もしくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重傷血管障害、重度の脊椎損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症または手術後の状態（上限180日）	
大腿骨 骨盤 脊椎 股関節もしくは膝関節の骨折または２肢以上の多発骨折	90日
外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており 手術後または発症後の状態	90日
大腿骨 骨盤 脊椎 股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	60日
股関節または膝関節の置換手術の状態	90日
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日

※廃用症候群：安静によって生じる筋力低下、関節可動域制限、起立性低血圧、心肺機能低下、精神機能低下等

当院では、入院時からご本人やご家族に退院後の生活についてのご意向をお伺いし、お一人お一人に合ったリハビリテーション目標の達成を目指します。
退院後の生活について、自宅か施設入所で迷っている、介護保険の申請の仕方が分からないなど、ご不安なことがありましたらいつでも医療相談員がお手伝いいたします。

よくあるご質問と回答

Q　入院中、どのような服を着ればいいですか？

A　当院では、アメニティセットご利用で病衣レンタル可能ですので、よろしければご利用ください。
また、回復期リハビリ病棟入院中は、毎日リハビリを重点的に行います。日中はお家で着ておられるＴシャツやトレーナー、ジャージパンツをお持ちくだされば、衣服の脱ぎ着の練習にもなり、より活動的に過ごしていただけます。

Q　発症から時間が経っていない段階での転院が不安です。

A　現在入院中の急性期病院と連携し、しっかりと患者様の情報をいただいて無理のないようリハビリを進めていきます。リハビリが進むにつれて、だんだんとご自分でできることが増えていきますが、お体が動かしにくく不自由なところは、病棟の看護・介護・リハビリスタッフが患者様の状態を共有し、ご不安のないようお手伝いいたします。

Q　急な入院・転院で精神的に不安定にならないか心配です

A　ご病気によって、また環境の変化等により、特にご高齢の方では認知機能が低下して周囲の状況に不安を感じて落ち着かなくなったり、混乱した言動が見られたりすることがあります。
多くは一時的なものですが、その方の最終的な目標に向かって穏やかな気持ちでリハビリを進められるよう、当院老年精神科の医師とも相談しながらできるだけの対応をさせていただきます。

JINJUKAI